

伊丹段丘の崖をめぐる

<参加メンバー> 7人(男性7名) <天候> 晴

<コースタイム>

(10月6日)

- 09:00 JR 川西池田駅集合 打合せ後に鴨神社・加茂遺跡に向けて出発
- 09:30 坂道をのぼり加茂遺跡を確認
- 09:40 回り込んで台地にある鴨神社で段差を確認 縄文時代からの集落が確認されている
- 10:05 (35分) 川西市文化財資料館 遺跡の土器や石器に驚く
- 11:30~12:10 久代春日神社 (昼食)
途中緑ヶ丘公園の伊丹市立鴻臚館でゆったり休憩
- 14:00~14:10 猪名野神社
- 15:40 JR 伊丹駅近くの有岡城跡へ
(その後伊丹段丘が生んだ名水で有名な酒造蔵へ向かう)

<ウォークの概要>

北摂の山々の裾野や平野部にも「高低差」と段差があり、その「高低差」をめぐるのも楽しい。
第1回のウォークは、川西市と伊丹市をめぐり、伊丹段丘を踏査してみた。
大阪平野の千里丘陵の西側の台地に南北に流れる猪名川。この猪名川が太古の昔、暴れ川として大地を削り残った段差が伊丹段丘だ。都市開発が進む中でもその高まりには神社や森が残っており、地域のシンボルともなっている。
まずJR川西池田駅からも見通せる鴨神社をめざす。ここから、川西市から伊丹市へとつながる伊丹段丘の崖ふちをたどる約10キロのウォークが始まった。
(一部感想 山に上るより平地を歩くのは疲れる)



1. 坂道を上がり加茂遺跡へ 掘り返されており全景は見えない



2. 台地を回り込むと鴨神社に



3. 鴨神社には、加茂遺跡の紹介がある



4. 大看板には、銅鐸 稲作 狩りの様子が描かれている 高まりに集落が形成された



5. 崖の上から平地を覗く 段丘は最大20mの高さがある



6. 川西市文化財資料館に、向かう



7. 石器や竪穴住居の模型、銅鐸のレプリカなどが展示されている 大規模な遺跡だ。



8. 高低差がある坂を下りてみる



9. 崖下から上を見る



10. 崖下は、水路があることが多い



11. 高まりの上の久代神社に向かう



12. 上から見ると住宅地が広がる



13. 崖下の住宅の擁壁には水抜きパイプがたくさんある。雨の日はあちこち流れるのか



14. 伊丹市は崖下を緑地帯にして保全している



15. 崖上の高まりにある猪名野神社



16. 猪名野神社内にある愛宕神社 有岡城の「きのの砦」は、現在愛宕神社となっていると説明する G さん



17. 次第に段丘を下りていくと伊丹郷町の大溝跡につく。江戸時代に有岡城の堀を埋め立て作られた石造りの水路



18. 伊丹段丘東の縁に築城された有岡城(国指定文化財)城主荒木村重は伊丹城を改名して大改造で総構えをしたとのこと